

現地視察資料

2011年7月9日 第7回十勝川中流部川づくりWS資料

第6回WSまでの確認事項

音更川合流点上流	
川づくり案	左岸側の樹林伐採(幅10mで保全)掘削なし
論点	—

音更川合流点下流①	
川づくり案	左岸側の樹林を保全し、右岸側を掘削
論点	伐採及び掘削範囲検討

相生中島下流	
川づくり案	中洲の一部及び左岸側を掘削
論点	—

十勝川温泉下流	
川づくり案	左岸の樹林を伐採・掘削し、浅場環境創出
論点	—



音更川合流点下流②	
川づくり案	中洲の一部及び右岸側を掘削
論点	—

相生中島上流	
川づくり案	左岸側は樹木の連続性に配慮しつつ掘削 右岸の河岸側の樹木を幅50mで保全し、その背後地の樹林を伐採
論点	現地を確認する

十勝中央大橋下流	
川づくり案	右岸樹林を伐採し、掘削 左岸下流を疎林化
論点	右岸樹林の保全 関係機関・団体等との要調整

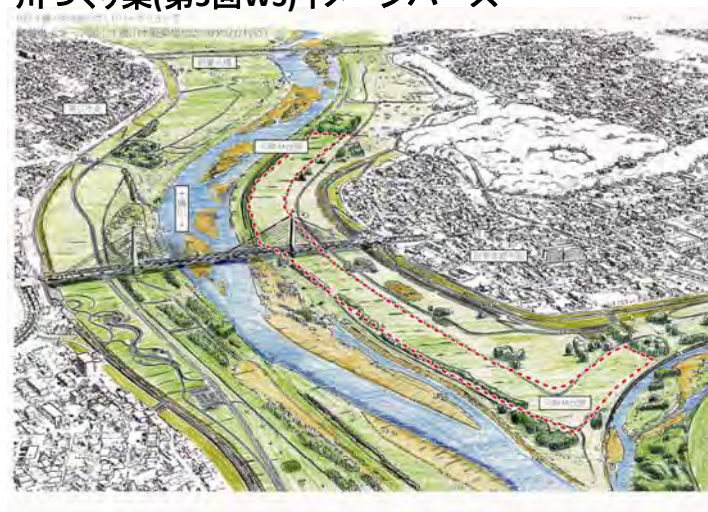
音更川合流点より上流

第6回WSでの内容

◆第5回で提案した「左岸の樹木を伐採(連続性を確保するため、幅10m程度の樹木を保全)し草原環境とし、河原は保全する案」を採用。



川づくり案(第5回WS)イメージパース



音更川合流点上流(十勝大橋から上流部)の状況



①十勝大橋上流左岸(川側)



②十勝大橋上流左岸(川側)



③十勝大橋上流左岸(築堤側)

河畔林の状況

ケショウヤナギとドロヤナギが優占する樹齢約20年の樹林となっている。築堤側は河岸側よりも若く、かなり密な樹林となっている。



撮影地点



④十勝大橋上流左岸(築堤側)
※高水敷側から撮影

音更川合流点上流(十勝大橋下流部)の状況

左岸

中央部中洲

右岸



⑤十勝大橋下流左岸(築堤側)



③中央中洲



②十勝大橋下流右岸(川側)



河畔林の状況

ケショウヤナギとドロヤナギが優占する樹齢約20年の樹林となっている。左岸は広い範囲で河畔林が形成されているが、右岸は運動公園が整備されているため、樹林幅は狭い。

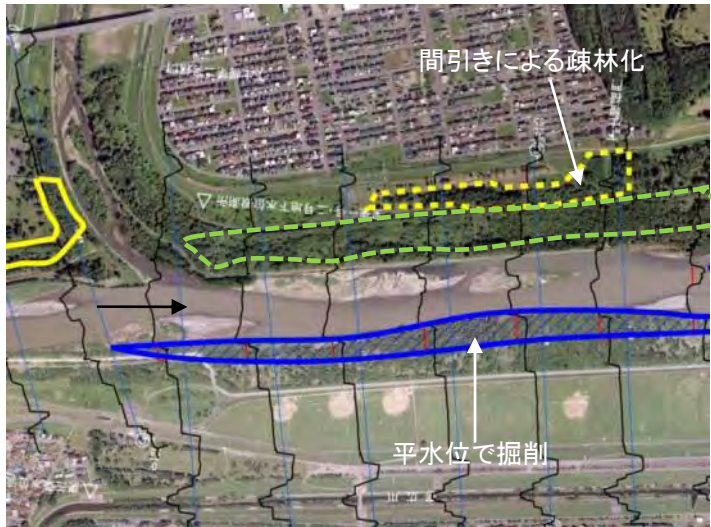


④十勝大橋下流左岸(川側)



①十勝大橋下流右岸(築堤側)

音更川合流点下流①



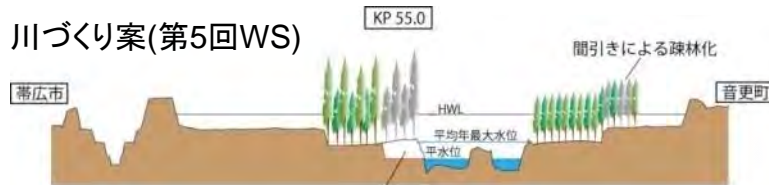
川づくり案(第5回)

左岸側(音更側)の樹林を保全し、右岸側(帯広側)を平水位で掘削する。
左岸側の高水敷の樹林を間引きし「疎」にする。

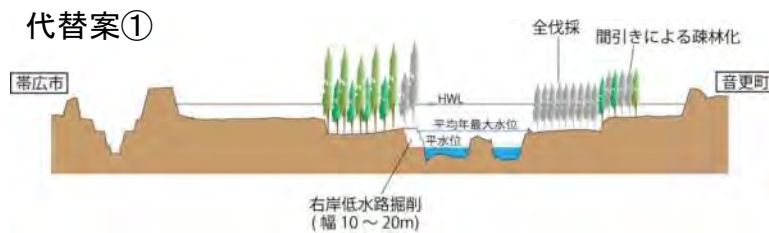
グループ討議意見

グループ	音更川合流点下流①
A・B	OK
C	<ul style="list-style-type: none"> ・左岸川側の樹木伐採で右岸掘削幅を減少 ・左岸堤防側疎林化
論点	伐採及び掘削方法検討

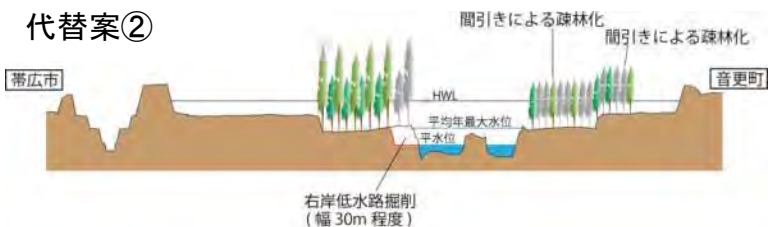
川づくり案(第5回WS)



代替案①



代替案②



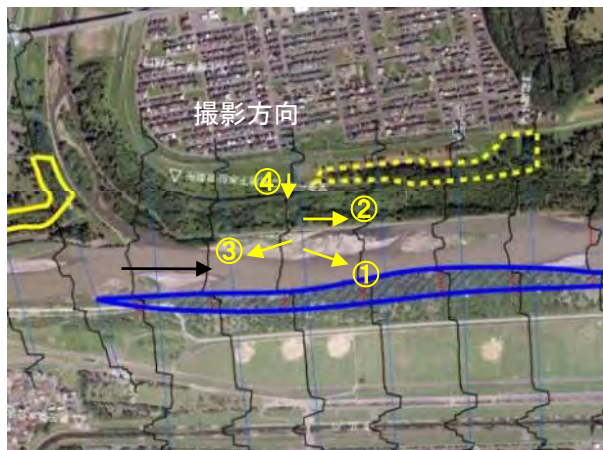
代替案の検討

- ①左岸高水敷(黄緑の範囲)の樹木を「全伐採」とした場合
 - ・右岸側の低水路掘削幅を約50mから約10~20m程度に減少することができる。
- ②左岸高水敷(黄緑の範囲)の樹木を「疎」にした場合
 - ・右岸側の低水路掘削幅を約50mから約30m程度に減少することができる。

第6回WS

様々な意見があるため、メンバーで現地を確認した上で改めて検討。
 ・キツネのすみかになっているため、黄緑の範囲の伐採を希望
 ・樹林があるからキツネが営巣するのか、木を切ることでキツネが少なくなるのか等色々考える必要がある

音更川合流点下流①(左岸)の模式断面図と現況写真



ケショウヤナギを含むヤナギ林
p.8写真⑤参照

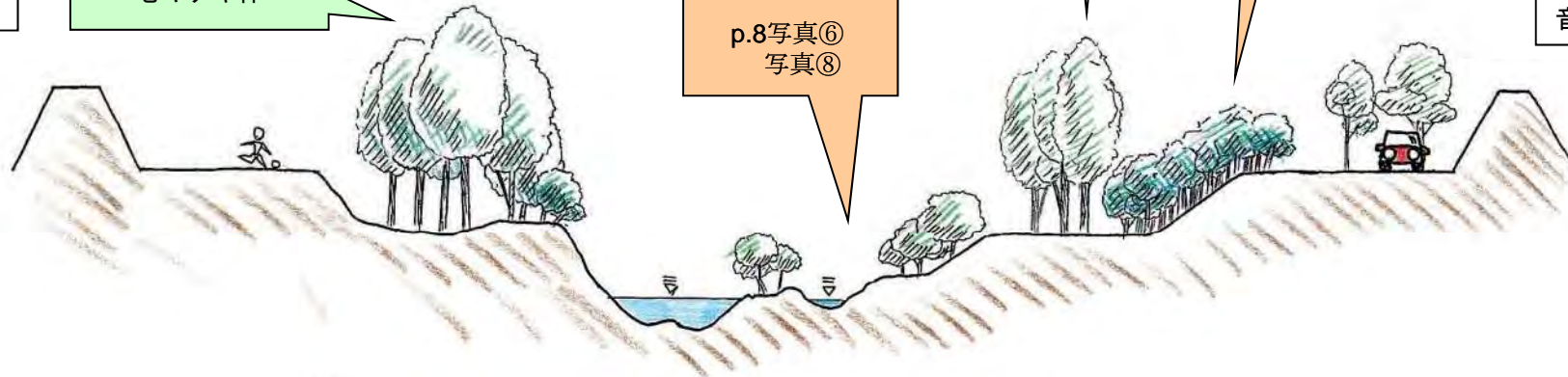
密なヤナギ幼木林
p.8写真⑦参照

帯広市

ケショウヤナギを含むヤナギ林

堆積土砂と植物群落
p.8写真⑥
写真⑧

音更町



音更川合流点下流①(左岸)の状況



写真⑤:河岸部に形成されているケショウヤナギを含むヤナギ林



写真⑦:築堤側の若いヤナギ林



写真⑥:低水路に堆積した土砂上に形成されているヤナギ幼木群落

河畔林の状況

ケショウヤナギとドロヤナギが優占する樹齢約20年の樹林となっているが、築堤側は若く密なヤナギ林となっている。



写真⑧:低水路に堆積した土砂上に形成されているヤナギ幼木群落

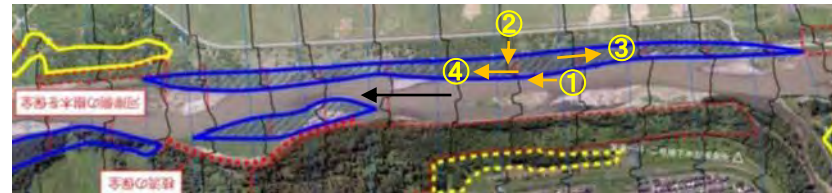
音更川合流点下流①(右岸)の状況



①右岸河岸部遠景



②右岸近景



③林内(ドロヤナギが優占)

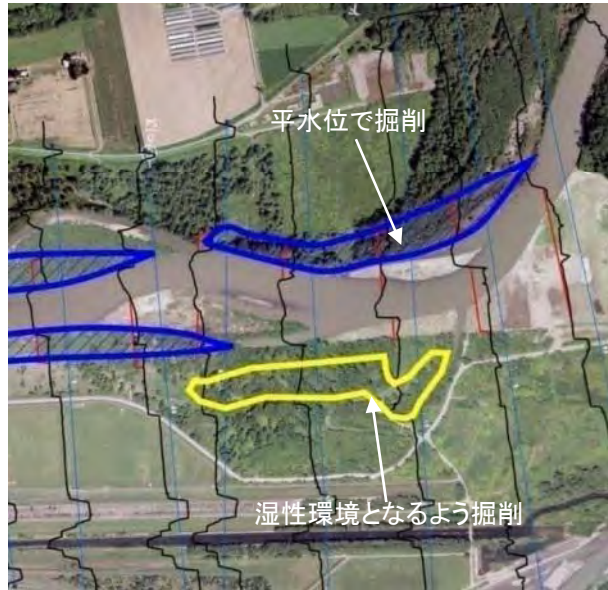
河畔林の状況

ドロヤナギ(③方向)とエゾノキヌヤナギ、オノエヤナギ(④方向)が優占する樹齢約20年の樹林となっている。



④林内(エゾノキヌヤナギ、オノエヤナギが優占)

相生中島上流



川づくり案(第5回)

左岸側は樹木の連続性に配慮しつつ、平水位で掘削する。
右岸の河岸側の樹林を幅50mで保全し、その後背地の樹木を伐採するとともに、再樹林化を防止するために湿性環境を形成する。

グループ討議意見

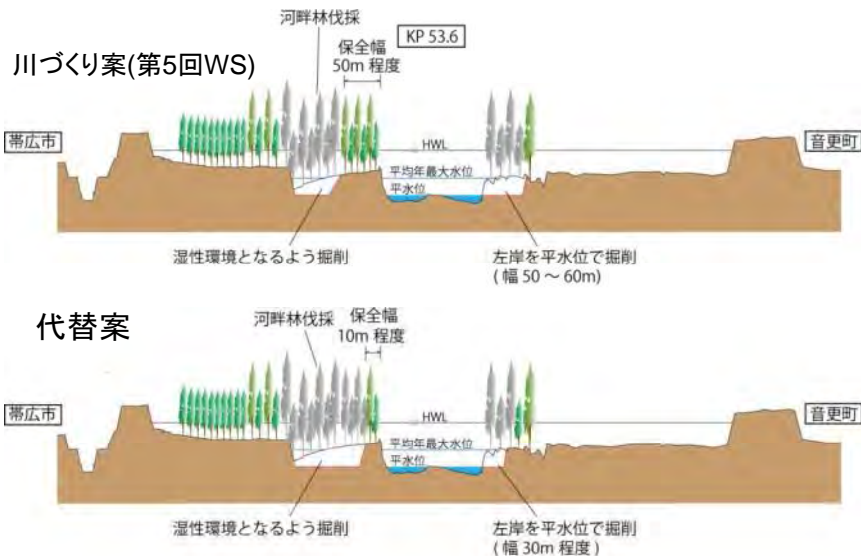
グループ	相生中島上流
A・B	OK
C	右岸樹林保全幅を少なくし、左岸掘削幅を減少
論点	右岸樹林保全幅を検討

代替案の検討

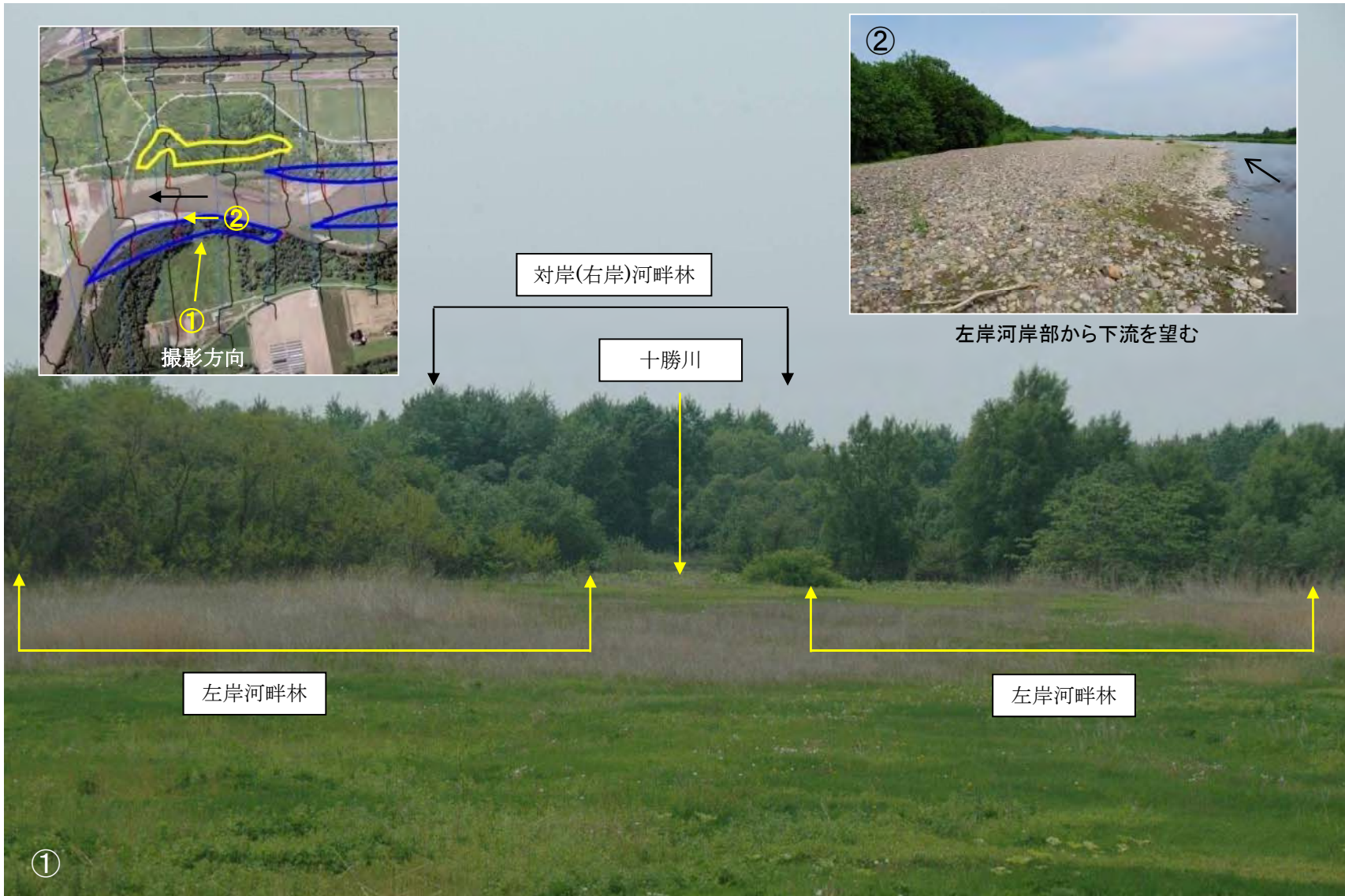
◆右岸樹林の保全幅を50mから10mに減した場合
・左岸側の低水路掘削幅を約50~60mから、30m程度に減少することができる。

第6回WS

基本的には第5回WSで提示した川づくり案に基づいて、現地を見て(掘削範囲等を)考えながら進めていく。



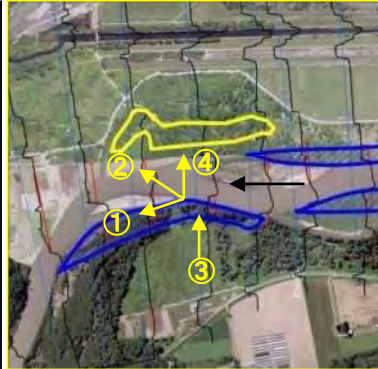
相生中島上流河畔林の状況



相生中島上流河畔林の状況



①左岸河岸部の河原とヤナギ林



写真撮影方向



②左岸から右岸(相生中島上流)を望む



③左岸河岸部のヤナギ林内

河畔林の状況

左岸はオノエヤナギとエゾノキヌヤナギが優占する樹齢約20～30年の樹林となっているが、河岸部は若く密なヤナギ林となっている。
右岸はケショウヤナギとドロヤナギが優占する樹齢20～30年のヤナギ林となっている。

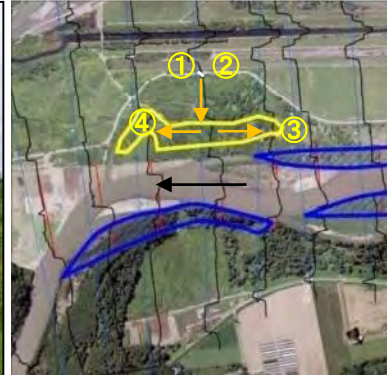


④右岸のケショウヤナギを含む河畔林の状況

相生中島上流右岸試行地の状況



①試行地遠景



撮影方向



②試行地近景



③林内

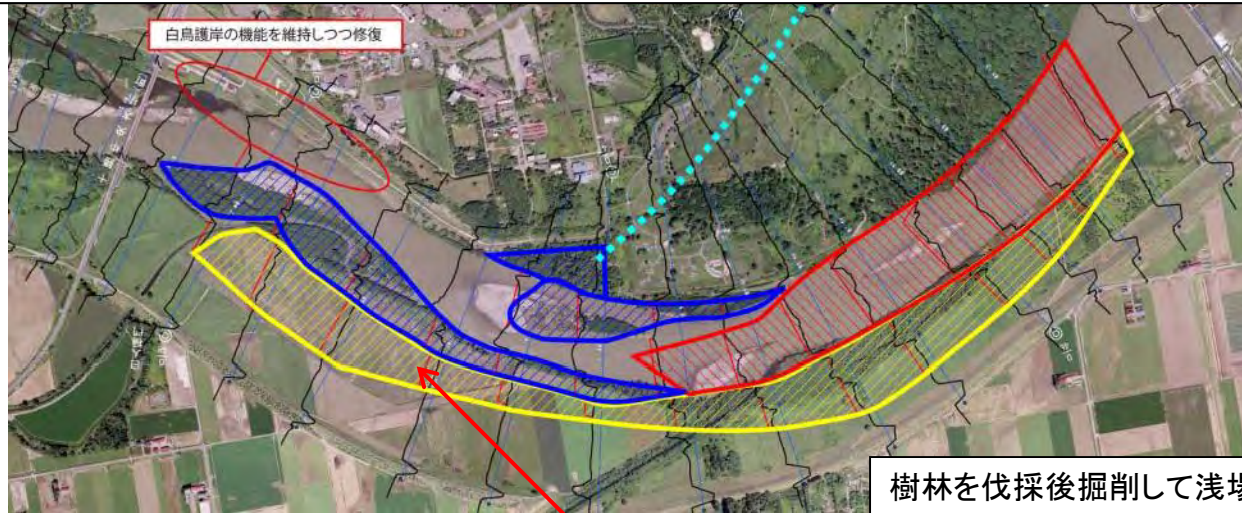
河畔林の状況

試行地は樹齢20～30年のケショウヤナギとドロノキが優占する樹林となっている。



④林内

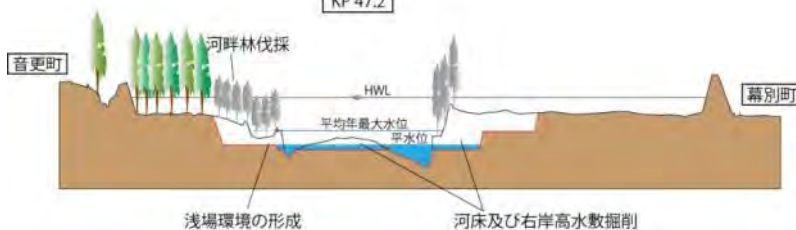
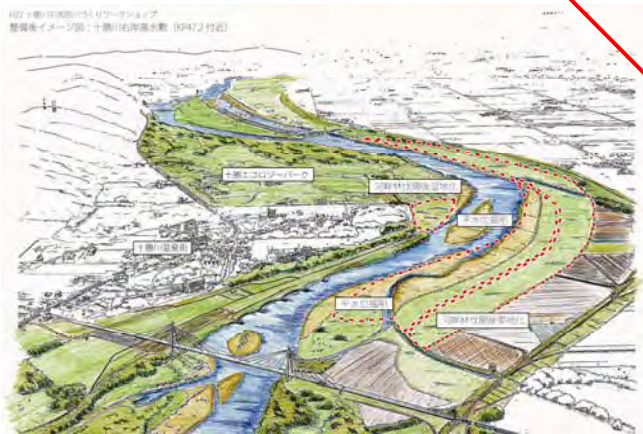
十勝中央大橋下流



川づくり案(第5回)

樹林を伐採後掘削して浅場環境を形成する。

川づくり案(第5回WS)イメージパース



グループ討議意見

グループ	十勝中央大橋下流
A	OK (エコロジーパーク下流のみ未議論)
B	川側の樹林を保全し その背後の高水敷を掘削
C	OK (白鳥護岸の整備希望)
論点	掘削方法を検討



第6回WS(事務局からの提案)

◆ 流下断面確保の観点から、右岸川側の樹林をすべて保全することは困難であるが、関係機関との調整も必要であり、「今後の検討課題」としたい。

十勝中央大橋下流部の状況

左岸

中央部中洲

右岸



①十勝中央大橋下流左岸(築堤側)



③中央中洲



④十勝中央大橋下流右岸(川側)



②十勝中央大橋下流左岸(川側)

河畔林の状況

左岸は芝生広場が広がり、河岸部の一部にヤナギ幼木が生育している。右岸には中洲と河岸部に樹齢約15年のオノエヤナギとエゾノカワヤナギが優占する樹林が形成されている。



⑤十勝中央大橋下流右岸(築堤側)

十勝中央大橋下流

メン川におけるサケ早期降下の必要性

メン川上流に釧路十勝管内さけます増殖事業協会のふ化場があり、毎年春に稚魚を放流している。稚魚の放流に当たっては、メン川のふ化場から本川(十勝川)、太平洋まで降下する時間等を計算の下に行っているため、ふ化場から本川には速やかに降下させる必要があり、十勝川との合流点付近は、シンプルな構造とする必要がある。

孵化場



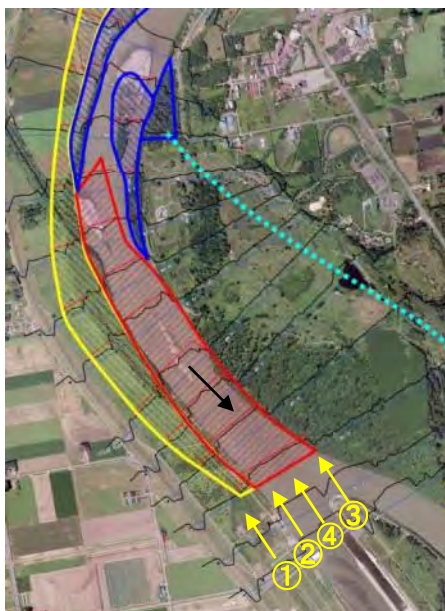
サケ稚魚降下



千代田新水路管理橋から上流部の眺望



①千代田新水路上流右岸(築堤側)



③千代田新水路上流左岸



②千代田新水路上流右岸(川側)

河畔林の状況

右岸は樹齢約15年のオノエヤナギとエゾノカワヤナギが優占する樹林となっており、左岸は十勝エコロジーパーク園地で、河岸部は右岸と同様だが、河岸部から公園側は樹齢30～40年以上のケショウヤナギを含むヤナギ林となっている。



④千代田新水路上流左岸

各地区の河畔林情報

河畔林情報	
樹種構成	ケシウヤナギを含むヤナギ類 (ドロヤナギ、オノエヤナギ、エゾノキヌヤナギ等)
樹齢	約20年
特記事項等	平成3年には樹木がない。

河畔林情報	
樹種構成	ケシウヤナギを含むヤナギ類 (ドロヤナギ、オノエヤナギ、エゾノキヌヤナギ等)
樹齢	20～30年
特記事項等	昭和53年には樹木がない。



河畔林情報	
樹種構成	ケシウヤナギを含むヤナギ類 (ドロヤナギ、オノエヤナギ、エゾノキヌヤナギ等)
樹齢	20～30年
特記事項等	昭和53年には樹木がない。

河畔林情報	
樹種構成	オノエヤナギ、エゾノキヌヤナギ等
樹齢	20～30年
特記事項等	昭和53年には樹木がない。

河畔林情報	
樹種構成	オノエヤナギ、エゾノキヌヤナギ等
樹齢	約15年
特記事項等	平成7年には樹木がない。

河畔林疎密狀況写真(例)

密林



疎林

